

庁舎建設問題

市民アンケート実施

一般会計12月補正予算に庁舎建設問題に関するアンケート調査費用128万6千円が計上されました。

議会は、新庁舎に関する調査特別委員会を開催し、市長の考え、スケジュール、アンケートの内容等の説明を受けた後に、予算特別委員会を開催、審査した結果、アンケート費用を削減する修正案が提出されましたが、修正案は賛成少数で否決され、原案のとおり可決されました。

新庁舎に関する

調査特別委員会

市長所信表明(抜粋)

新庁舎に関する件については、平成24年12月定例会及び臨時会において、議員提案の市役所の位置を現在の稲築多目的運動広場とする内容の条例が可決、確定している。

現行の分庁方式は合併時にはやむを得なかったとしても、本庁舎の建設は支所との適切な役割分担等を定め、効率的で効果的な行政運営の基盤とし、嘉麻市が基礎自治体として運営していくためにも必要不可欠なものであると認識し

ている。

長い期間にわたり行政が市民に的確な情報を提供してこなかったことや、市民ニーズの把握を怠ってきた混乱を1日も早く解消するため、まず、庁舎建設問題に関する市民アンケートを実施することとした。

スケジュール案については、財政状況の厳しい嘉麻市にとって、事業費の3分の2に相当する財政支援措置がある合併特例債の活用は不可避であり、平成32年度までとなる。条例として庁舎の位置が法的に確定しているが、その他について

は、市民の皆様へ情報の提供及び共有に努め、市民の皆様との合意形成を図り、議会の御意見をいただきながら、一つ一つ丁寧につくり上げていきたい。

予算特別委員会

補正予算に

反対する意見

○ 現状では住民の合意形成が全くできておらず、反対に住民運動が広がっているという実情を考えれば、原点に戻し、庁舎建設の是非については、抜本的に市民参画の上、協議を進めるべき。

○ 今回の意向調査というのは、建てること

が前提だ。市民の意思は全く反映されるものではない。市を二分するような形でのアンケートのやり方は間違っている。

○ まず住民説明会を経て、そして意見集約をされるべきだ。できたら庁舎建設については住民投票を行って、条例改正、庁舎建設を市民に問うべき。

○ 嘉穂庁舎を当分の間使って、旧大隈小学校の校舎を庁舎がわりに使えば十分だ。

補正予算に

賛成する意見

○ 嘉麻市の将来を見つめ、住民福祉を維持発展させていくためには、4つの庁舎は嘉麻市に大きな財政難を引き起こし、市民にはかり知れない犠牲を強いることにつながる。職員の少数精鋭を図り、人件費の縮小が最大の行政課題。そのた

めにも新庁舎の建設は急がなければならない。

○ 市民の意向を聞いていこうという市長を初め執行部の考えのあらわれと認識している。そういう意味では、まず、アンケート調査を今回実施して、今後市民参画を進めていく中で、市民への説明会、また出前講座なども取り組んでいただきたい。

※本会議でも同様の賛成意見・反対意見が出されました。

